

狭山池シンポジウム2013（第4回）

○開催日

2013年11月30日

○テーマ

碧骨堤（ピョッコルチェ）の謎を探る

○内 容

4回目となる今回のシンポジウムでは、狭山池の兄弟堤である「碧骨堤」に注目し、平成24年から再開された発掘調査の最新成果をもとに、碧骨堤を生んだ馬韓・百済の文化と、古代日本との交流について、討論を行いました。

当日は、市内外から210名の参加者にお集まりいただき、大変活気あふれるシンポジウムとなりました。

○パネリスト報告等

「金堤 碧骨堤の発掘成果とその意義」 崔完奎(チェ ワンギュ)氏(財団法人全北文化財研究院理事長)

「考古学からみた馬韓・百済と倭の交流」 吉井秀夫氏(京都大学大学院教授)

○パネルディスカッション

◇コーディネーター

工楽善通氏(大阪府立狭山池博物館館長・大阪狭山市立郷土資料館館長)

◇パネリスト

崔完奎(チェ ワンギュ)氏(財団法人全北文化財研究院理事長)

吉井秀夫氏(京都大学大学院教授)



パネルディスカッション風景